

中央発條株式会社

証券コード：5992

CHUHATSU
CHUO SPRING CO.,LTD.



第99期中間報告書

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日

CONNECT WITH THE NEXT.

「その技術で次なるステージへ」



技 術 と 情 熱 が 創 り 出 す 価 値 あ る 商 品 を 未 来 へ 世 界 へ



代表取締役社長 高江 暁

もっと、もっとワクワクしたい明日の笑顔のために

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第99期中間期（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の事業の概況についてご報告申し上げます。

2021年11月

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高が前年同四半期に比べ67億6千1百万円増収（前年同四半期比21.5%増）の382億8千万円となりました。

損益の状況につきましては、営業利益が2億4百万円（前年同四半期は8億4千5百万円の営業損失）、経常利益は6億2千1百万円（前年同四半期は4億6千2百万円の経常損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億9千3百万円（前年同四半期は5億7千3百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

前年同四半期に対し売上増及び合理化改善の効果により、営業利益は増益となりましたが一方で鋼材・物流費の高騰など計画外の原価上昇影響により、その増益幅は限定的なものとなりました。

年度後半も主要なお客様への売上台数は当初計画には至らないとみており、本年10月28日に通期連結売上高及び利益各指標を下方修正いたしました。

年度後半の連結営業利益は、売上高の減少から生じる減益分については、合理化改善の加速により吸収いたしますが、鋼材・物流費の高騰は引き続き発生いたします。鋼

材につきましては、当社の販売価格に反映できるようお客様と価格交渉中であり、また物流費につきましては、荷姿効率の改善などを進め、その影響を最小限にとどめるべく努力いたしますが、修正公表計画通りの減益となります。

一方で、本年は更なる生産性向上による労務費・稼働費の改善、固定費の変動費化及び原材料の改善による総費用低減活動を全社一丸となって実施する計画であり、鋼材・物流費の高騰の両特殊要因を除く損益分岐構造は維持されております。従いまして、主要なお客様の生産台数が回復し、鋼材・物流費の高騰の影響が上記施策により解消されれば通常レベルの収益を確保できる予定です。

なお、来年度以降の中長期経営計画につきましては「中発グループ Global Vision2025」でご説明させて頂きました通りの売上計画に変更はございません。23年度までの新規受注は確定しておりますので、今後残りの計画の具現化を行い、25年度計画を達成いたします。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2021-25 中長期経営計画 — Global Vision 2025 —

当社は、本年5月に「中発Global Vision 2025」およびそれらを具現化する「中長期経営計画(2021-2025年度)」を策定いたしました。

「経営基盤強化」「競争力強化」「グローバル展開」3本の柱を軸で**連結売上1,000億円、営業利益率5%**を目指してまいります。

※中長期経営計画の詳細につきましては、当社ホームページにて掲載しております。

<https://www.chkk.co.jp/wp-content/themes/chkk/pdf/IR/download/20210527.pdf>

連結売上1,000億円 営業利益率5%

製品の高付加価値化



ラバー一体
コイルばね



スタビOn/off機構



スタビ接着ブッシュ



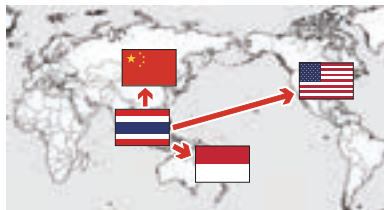
グローバル展開



カローラ クロス
日本・タイ・北米
で受注獲得

※写真提供
トヨタ自動車株式会社様

競争力強化



材料二次加工を内製化
世界にシャシばね材料を供給

SDGsへの取り組み

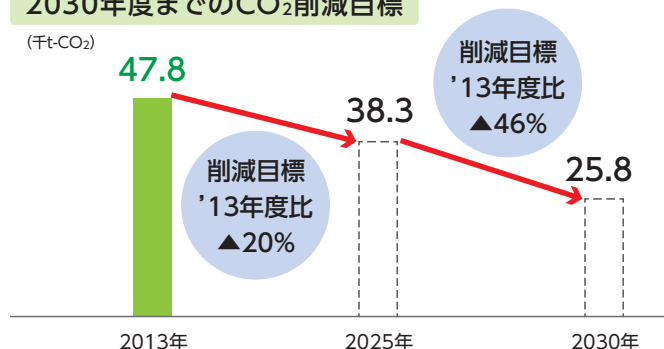
持続可能な地球環境への貢献を目指して

当社は、エネルギー資源の効率的な利用、環境に優しいモノづくり、環境負荷の少ない工法の実現により、持続可能な地球環境への貢献を目指しております。

具体的には、2030年までの削減目標である中長期計画目標を策定し、目標達成のためのシナリオに沿った取り組みを全社で推進しております。

2030年度までのCO₂削減目標

(千t-CO₂)



SDGsとの関連



※SDGs

2015年9月に国連で採決された、環境や社会問題に取り組むための目標。

17の目標と169のターゲットで構成されている

中長期CO₂削減のシナリオ

技術

非調質材活用、高加工性高強度材の開発
低温焼付・焼付フリー塗料開発、溶剤塗料から水系塗料への移行
冷間加工前提の製品設計開発

生技

熱間成形から冷間成形へシフト
加熱レス工法の開発
省エネ工法開発
工程のシンプル・スリム化

生産

生産エネルギーの転換
生産エネルギーの低減
高効率機器の導入

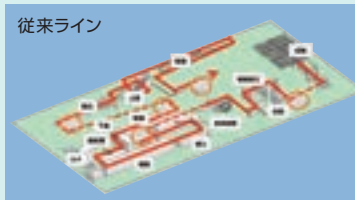
原動力

再生エネルギーの購入
太陽光発電等の導入
高効率原動設備の導入
(CO₂フリー燃料の使用)

事例:革新ライン

設備面積	: ▲73%減
製造にかかる時間	: ▲95%減
CO ₂ 排出量	: ▲20%減

従来ライン



革新ライン

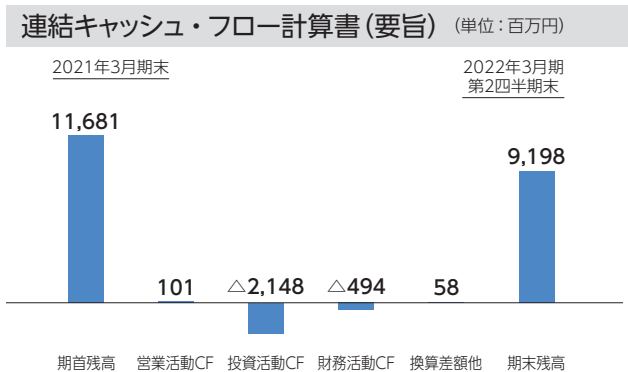
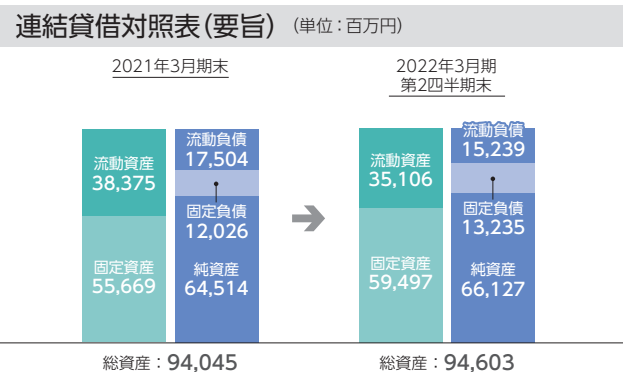
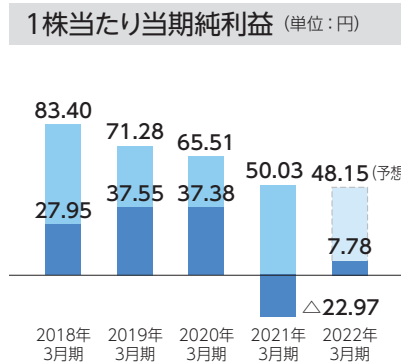
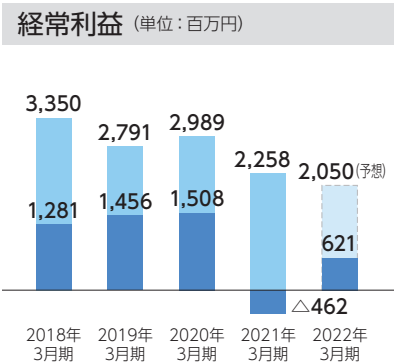
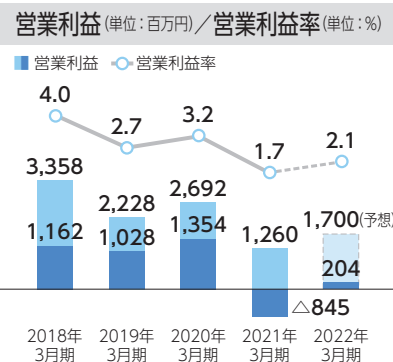
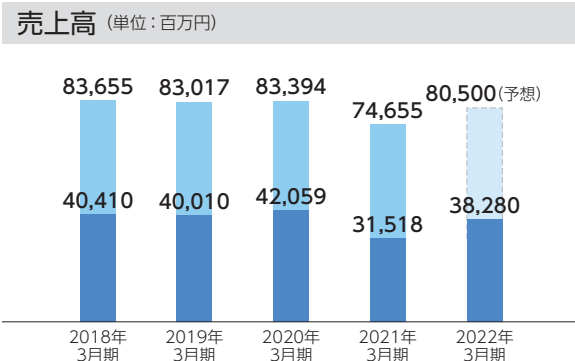


技術革新による生産効率化、CO₂排出量削減を実現

決算概要・連結業績ハイライト

(■第2四半期 ■通期) (為替レート(USD/JPY) 2021年3月期:105 2022年3月期:105(予想))

連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)		
科目	2022年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期
売上高	38,280	31,518
営業利益又は営業損失(△)	204	△845
経常利益又は経常損失(△)	621	△462
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	621	△522
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	193	△573



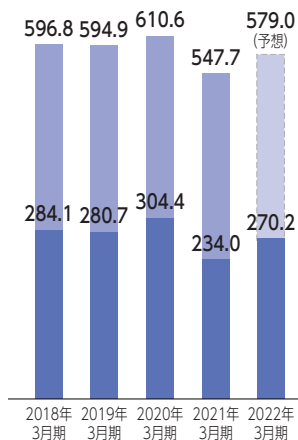
(注1) 2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(注2) 将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。

地域別セグメント売上高 (単位：億円)

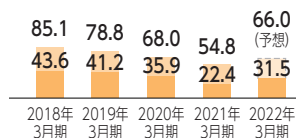
日本

■ 第2四半期 ■ 通期



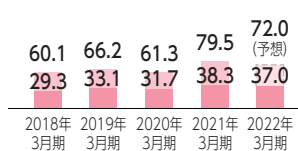
北米

■ 第2四半期 ■ 通期



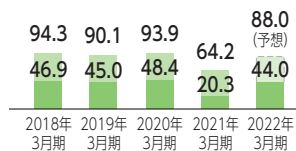
中国

■ 第2四半期 ■ 通期

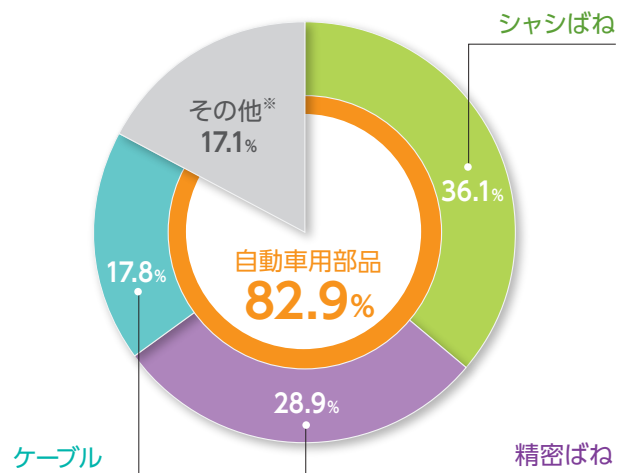


アジア

■ 第2四半期 ■ 通期



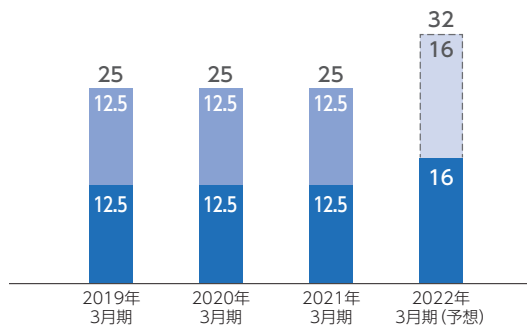
製品別売上構成



※その他には自動車用品・建築用部品他を含んでおります。

1株当たり配当金 (単位：円)

■ 中間期 ■ 期末



(注1) 2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり配当金」を算定しております。

(注2) 2022年3月期期末配当につきましては、現時点では1株当たり16円のままとさせていただきます。

TOPICS

● 陸上部 —ニューイヤー駅伝出場権を獲得—

11月7日(日)愛知県田原市で開催された新春恒例のニューイヤー駅伝の選考会を兼ねた、中部実業団駅伝競走大会に当社陸上部が出場し、見事8年連続での出場権を獲得いたしました。

また本大会より公式ユニフォームをリニューアルし、当社の掲げる「未来への道」を表現した新ユニフォームで、ニューイヤー駅伝でも上位入賞を目指し、チーム一丸となって練習に取り組んで参ります。



中部実業団駅伝競走大会でのゴールシーン



当社陸上部集合写真

TOPICS

● 全世界でシャシばね生産始まる

北米にあるCHUHATSU NORTH AMERICA, INC.で新たにシャシばねの生産が開始されました。事業構造転換の一環として、タイにあるCHUHATSU (THAILAND) CO., LTD.にケーブル生産を移管し、今後はシャシばね生産が主体の拠点になっていきます。



CHUHATSU NORTH AMERICA, INC. シャシばね製造ライン

TOPICS

● 鉄道ビジネス 量産化へ

自動車用リーフスプリングの技術を応用し、鉄道のレールとその枕木を締結するための「レール締結用クリップ」が、昨年7月、営業路線に試験敷設され無事に実地試験評価をクリアいたしました。

これにより、晴れて量産メーカーとして認められ、いよいよ次は、念願の量産初受注です。

「鉄道も出来る中発」という“大きな夢”の実現に向け、鉄道関連企業様に対する売り込み活動を一層パワーアップし、一日も早い量産初受注を目指して参ります。

会社概要

設立	1948年12月25日
資本金	108億3,720万円
従業員数	連結：4,232名 単独：1,473名
製品区分	自動車用部品(シャシばね、精密ばね、ケーブル)、 その他(自動車用品・建築用部品他)

株主メモ	
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告方法	電子公告 ※決算公告に代えて、貸借対照表および 損益計算書は、金融商品取引法に基づ く有価証券報告書等の開示書類に関す る電子開示システム（EDINET）にて 開示しております。
株主名簿管理人 (連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
単元株式数	100株
証券コード	5992
上場取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所

株式情報

株式の概況	
発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	25,542,396株
株主数	4,423名

大株主		
株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
トヨタ自動車株式会社	6,159	24.71
愛知製鋼株式会社	1,915	7.68
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,374	5.51
中発取引先持株会	1,262	5.06
株式会社三菱UFJ銀行	1,235	4.95
株式会社三井住友銀行	1,219	4.89
東京海上日動火災保険株式会社	908	3.64
あいおいニッセイ同和損害保険 株式会社	512	2.05
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	510	2.04
中発従業員持株会	475	1.90

(注1) 出資比率は、自己株式(622,858株)を控除して計算しております。
(注2) 2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。

